

追悼 中村哲医師 緊急フォーラム

これからの国際協力・ボランティアを考える

2019年12月4日、中村哲医師が、ジャララバードの宿舎を出て作業現場に向かう途中銃撃され、命を落としました。本企画は、中村医師に追悼の意を表して開催します。基調講演では、中村氏とともにアフガニスタンで過ごした経験のある堤敦朗金沢大学准教授にお話しいただくとともに、国際協力、国際災害救援などの第一線で活躍するパネリストをお招きし、人道支援、国際協力、ボランティアのあるべき姿について意見を交わします。

日時：2020年2月29日（土）10時～12時

場所：北陸学院大学三小牛キャンパス 第一視聴覚教室

【第1部 基調講演】

「中村哲医師から受けとった言葉」

堤 敦朗氏（金沢大学国際機構准教授）

【第2部 総合討論「人道支援、国際協力のこれから」

パネリスト

小島路生氏（TLAG 事務局長）

吉椿雅道氏（CODE 事務局長）

田口昭典氏（日本パフテスト連盟金沢キリスト教会）

堤 敦朗氏（金沢大学国際機構准教授）

進行：田中純一（北陸学院大学）

【堤 敦朗氏略歴】

国際基督教大学教養学部卒業後、東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。保健学博士、医学博士。WHOテクニカル・オフィサーとして、インド洋大津波対応の他、災害精神保健ガイドライン作成等を担当。その後、JICAで初めての精神保健に関する長期専門家として、中国・四川大地震後の心のケアプロジェクトを統括。国連大学では、非感染症・精神保健・被害者の権利等に関し、持続可能な開発目標や仙台防災枠組など国連のフレームワークづくりに従事した。

参加無料

事前申し込み不要

※当日は駐車場の誘導はありません。公共交通機関等をご利用になってください。

■ 本企画に関するお問い合わせ

田中純一研究室（Email:redec@hokurikugakuin.ac.jp）